

の業績は、どれをとっても極めて秀でた業績であり、清水多栄先生（元広島医科大学学長、元岡山大学学長）、数野太郎先生（広島大学名誉教授）などの大先達の伝統の上に実った美しい成果である。

古武士然とした奥田教授は、広島で作られた、日本語の説明文もたまには出てくる古いスライドも使って、美しい古都B&Wで、コレステロール7 α -水酸化酵素について研究の苦心とその成果を話されたが、この成果は広島島の日本の誇りであろう。コレステロール合成のメカニズムはBoegが、コレステロールの代謝異常における細胞膜表面の受

容体の重要性はGoldsteinやBrownなどが解明し、ノーベル賞が授与された。これらの業績に比肩しうるコレステロール異化の最も重要な代謝調節酵素の解明という意義をもつ成果であると私は思っている。しかもこの酵素は長年にわたり多くの研究者が試みては失敗を繰り返したいわくつきのもので、それ故に多くの（追試的）同時発表がみられたが、奥田教授単独での受賞になったところに意義がある。この酵素の解明は人類の高血圧、動脈硬化症、胆石症、高脂血症などの病態解明とその治療や予防に貢献するところが大きいであろう。

宮城まり子氏第一回 「ペスタロッチー教育賞」受賞

広報委員会 堀越 孝雄

優れた教育実践を行っている個人あるいは団体に対しておられる「ペスタロッチー教育賞」の第一回受賞者に、学校法人ねむの木学園理事長・ねむの木養護学校校長、宮城まり子氏を選ばれた。表賞式は一九九二年十一月十三日十三時より、本学教育学部大講義室で行われ、教育賞贈呈の後、宮城まり子氏による受賞講演と、引き続き慶応大学名誉教授村井実氏による記念講演が行われた。

宮城まり子氏は講演の中で、肢体不自由児養護施設、ねむの木学園設立のいきさつや、設立から今日にいたる苦勞の数々について語られた。氏の弱者への思いやり、権力に向かう心、他には想像できない数々の困難を乗り越えてこられた強い意志は、満場の聴衆の心を強く打った。特に、氏の講演はこれから教育の実践者として立ちとうとしている多くの若い学生諸君に深い感銘を与えたものと思う。

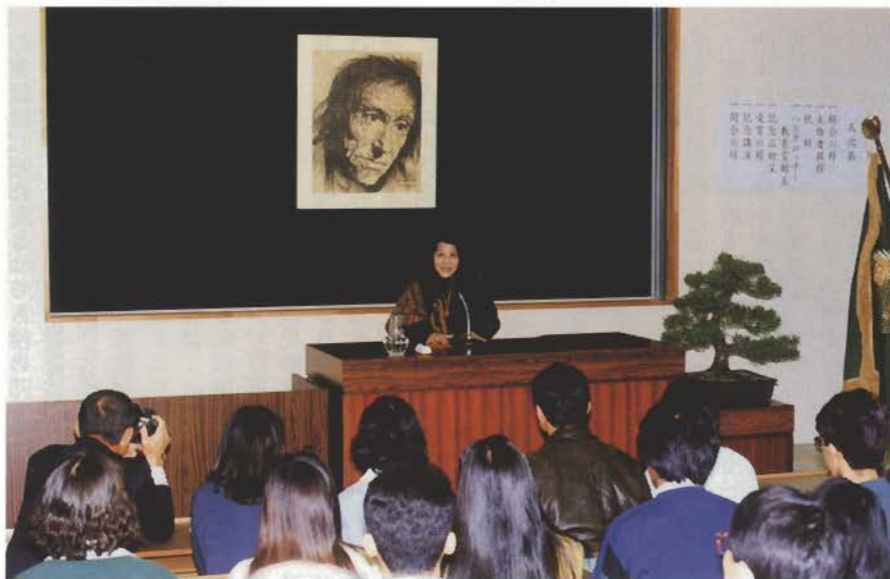


以下は当日の宮城氏の講演の要旨である。

◆◆ねむの木学園と二十五年◆◆

この賞を頂き、本当にうれしゅうございます。私は、初めは行政を知らなかったのです。心があればすべて通じると思ってしまった気持ちから、（一九六八年に）ねむの木学園を作ってしまった。

四歳の時に父や母から受けた「相手を思いやりなさい」、「小さい、弱い子にはやさしくしなければいけません」、「大きい子は行って泣かしていらっしやい」というしつけ、十二歳の時、母の死に際し、悲しむ弟を見て「大



きくなったら泣いている子に何かしてあげられる人になりたい」と思ったことが、ねむの木に通ずるものだと思います。

女優としてちやほやされ出した頃、これは本当の私ではない、もうそろそろ子ども達のお手伝いをしたいなと思ったのです。脳性ま

ひの子の役をもらった時、脳性まひの子どものいる病院に三日間勉強に入らせて頂きました。その時、その子ども達は、学校に行けない子は、行かなくてもよいという法律があることを知ったとき、四歳の時の、「かなわぬまでも権力と闘えよ」という父の言葉がじわーっと出てきたのです。

その後、土地探しが始まり十年、役所通いが三年、小さな十二人のねむの木が誕生したのです。つらい、やめてしまいたい、死のうと何べん思ったかわかりません。ペスタロッチーでもあんなに苦労したんだからと思い、死ぬのをやめました。

あの子ども達が、ないと思われていた才能が、実はいっぱいいっぱい出て、(絵、書、詩、文章、踊りなどを)世界にもって行って見て頂いて、交流をしたりして、応援団ができて皆が守ってくれるから、この賞が頂けるのよと子ども達に言いました。

この賞をもらい、もう一度初心に戻りたいと思っています。いままでの二十五年間は勉強の時間と思い、二十六年目からもう一度一歳になってやらなければと思っています。

障害を持つている子ども達、誕生日の数の多過ぎる(お年をめした)人の手伝いをしたりする日があるとと思っています。忘れられがちなやさしさや思いやりを大切にできた「ねむの木学園」で、子ども達がそのまま生きていってほしいのですが、うれしく、自慢にしたいと思っています。

これからお年を召した方が生涯勉強する村を作ろうと努力しております。建築費は下がらないのに、売ろうと思った土地の値段は下がったりして、ストップしていますが、やらないでほしいと思っています。また、一年目の時に返り、子ども達とともに開墾し、笑い、泣きながら、誕生日の多い人のために完成したいと思います。そんなふうにもうと勇気を与えてくれた賞を与えて下さったことに感謝します。

会場の学生さん、どうぞ子ども達のいい導く人になって下さい。子ども達の前に立った時、まささらになって、新しい気持ちで教育して下さい。子ども達はそれを全部引き受けられると思いますので。

(拍手鳴りやまず)

